

# Vehicle Cockpit Designer

< 車載デジタルコックピットのコンテンツ制作ツール「VCD」 >

## 「VCD」システムとは？

「VCD」システムの操作画面



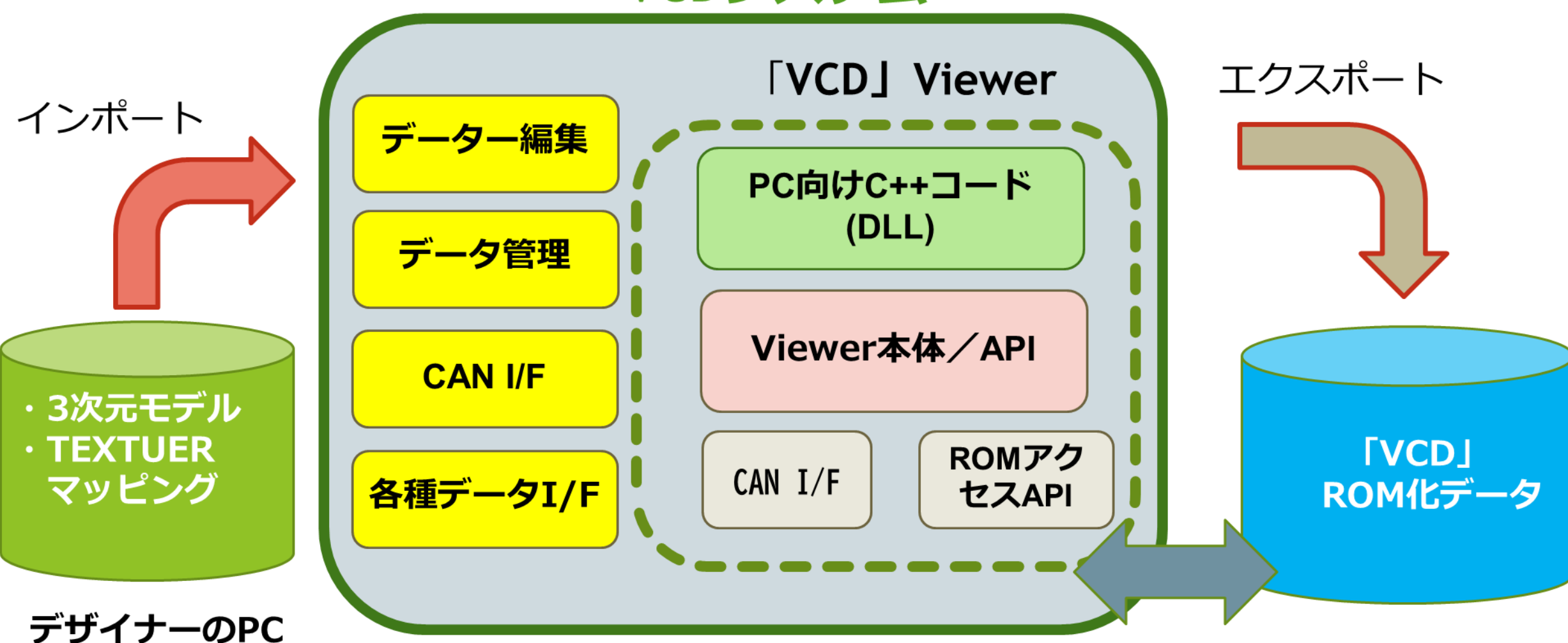
「VCD」システムは車載情報の可視化に必要な開発を支援するシステムで、PC上での画面レイアウトとアニメーションデータの編集とターゲットマシン上での組み込みの両面をサポートします。

これにより、PC上での最終イメージの確認とターゲットマシンでの迅速な開発（PCでのソースコードの流用）を可能にします。車載情報の可視化にはクラスタの表示をはじめ、自車両、周辺車両の状態、センサーやカメラから取得する周辺情報、道路情報、運転支援のための情報等を含みます。更にナビゲーションシステムや自車両の集中電子制御、管理等の画面や、車載以外の組み込みにも応用可能です。

## 「VCD」システムの内部構造

### VCDシステムの内部構造

#### VCDシステム



#### ・「VCD」システム

「VCD」アプリ本体です。各種3次元モデルデータI/Fによりデータを読み込みレイアウト編集、アニメーション等の作成を行います。

#### ・「VCD」ROM化データ

「VCD」の編集結果はROM化可能なバイナリーイメージとして出力されます。

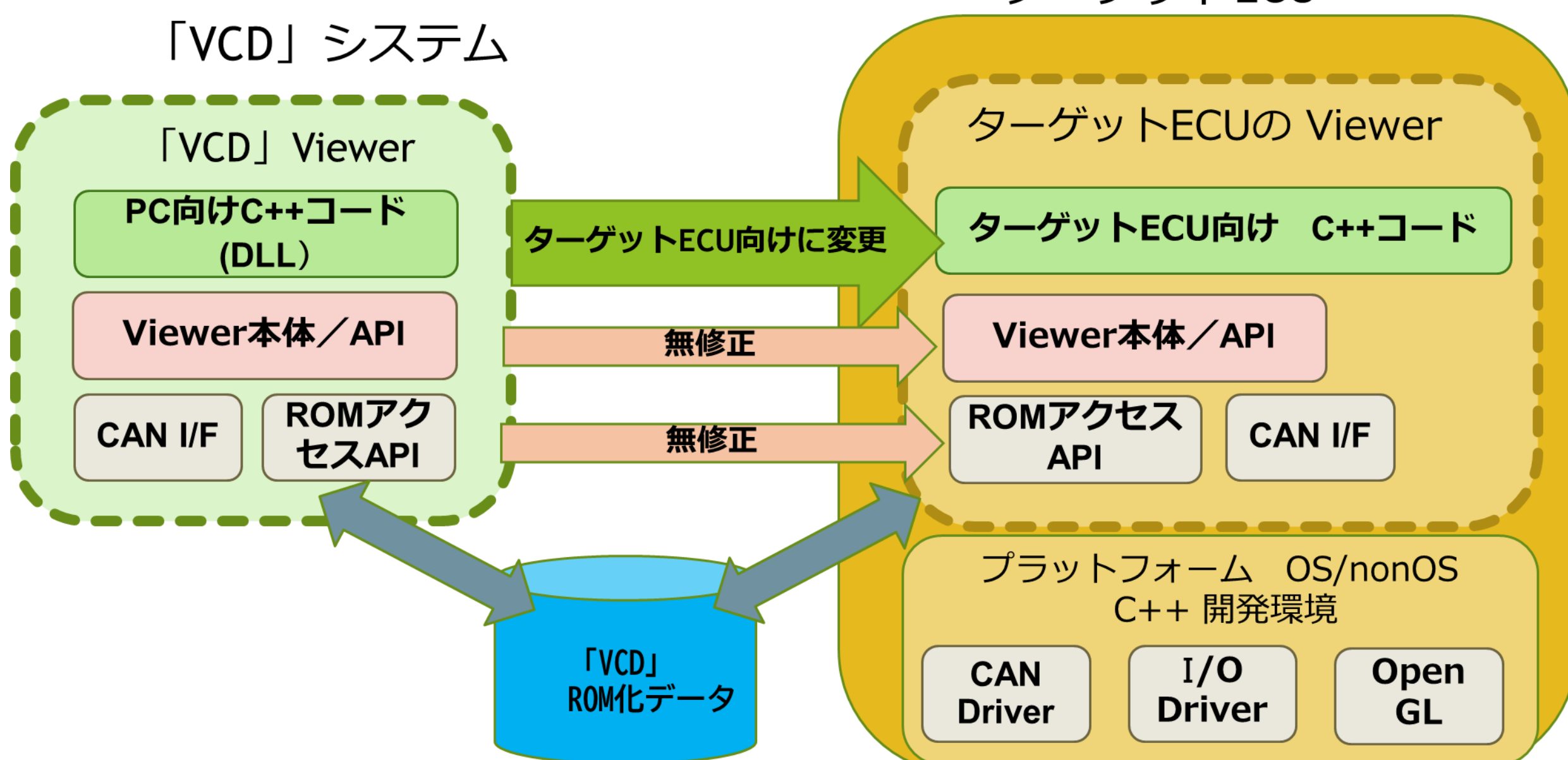
#### ・PC向けC++コード(DLL)

フレーム毎の表示制御やCAN I/Fの仕様に基づきフレーム毎の表示制御、表示データ内容の切替、アニメーションの開始、停止等々の制御を、APIを使用して行えます。PC上ではDLLにて各プロジェクトごとに作成します。

## ターゲットECUへの移行について

### ターゲットECUへの移行

#### ターゲットECU



VCDシステムで作成されたデジタルコックピットのコンテンツをターゲットECUに移植する場合は、「VCD」ViewerのC++コードをターゲットECU向けのコードに書き直すだけで完了します。

Viewer本体や各種インターフェースは特別なことがない限りそのまま流用できます。また様々なデジタルコックピットの表示で使用するコンテンツのパーツはVCDシステムからROM化データとしてエクスポートされますので、最低限の修正でそのまま活用することができます。

このシステム構造によって、量産移行する際の修正工数を大幅に削減することが可能になりました。